

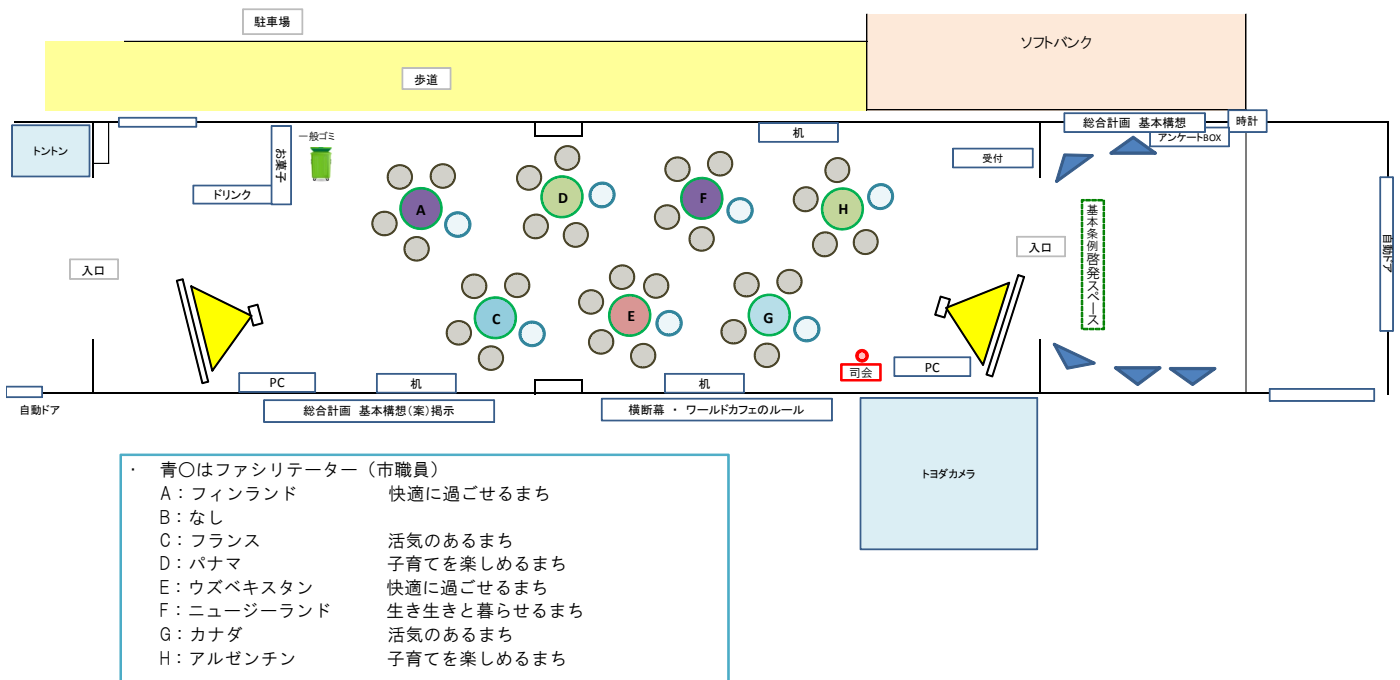
亀山市総合計画策定のための
市民フォーラム「まち×カフェ in かめやま」
開催結果報告書

平成28年8月

市民フォーラムの開催概要

- 目的／第2次亀山市総合計画の策定にあたり、市民の意見を広く聞きとるため
- 名称／市民フォーラム「まち×カフェ in かめやま」
- 日時／平成28年5月22日（日） 午後1時30分～午後5時
- 場所／亀山ショッピングセンターエコー 1階 多目的ホール
（亀山市東御幸町222）
- 対象者／市内在住・在勤の18歳以上の方
- 参加者／21人
- テーブルファシリテーター・補助／14人（市職員、コンサル）
- 内容／総合計画の意義やまちづくりの方向性である基本構想（案）の概要を市民と共有するとともに、「まちのイメージ」や「都市像の展開方針」などに関する意見をワークショップ形式（ワールド・カフェ）で聞きとる。
 - 亀山市の「良いところ」「問題なところ」を考えよう
 - 亀山市の「まちのイメージ」について考えよう
 - まちのために自分たちで出来ることを考えよう
- 進行役／企画政策室

市民フォーラム「まち×カフェ in かめやま」会場配置図



市民フォーラムの記録

① 亀山市の「良いところ」「問題なところ」を考えよう

「亀山市に移住を考えている友人に対し、亀山市を紹介してください」という設定で、キーワードとなる「良いところ」3つと「問題なところ」1つを考え、グループ内で共有した。



【意見の整理結果】

良いところ	件
交通の便（車）・アクセスが良い（物流、道路整備、大都市へのアクセス）	26
自然が豊か	19
子育てしやすい（公立幼稚園の3年保育、給食、医療費、地域の人、パパ友・ママ友など）	13
土地が安い	8
災害（地震・津波）のリスクが低い	6
ゆったり・のんびり・平和	5
地域の繋がり	4
人が親切、人情味がある	4
ゴミの分別が楽	4
関宿など歴史あるまちなみ	4
空気がきれい	3
コンパクトなまち	3
公園がある	2
田舎	2
イベントが多い、居酒屋が多い、地場野菜がおいしい、年をとっても食に困らない	各 1

問題なところ	件
公共交通（車がないと不便）	22
店が少ない	7
田舎・刺激がない	3
道路が狭い	2
学校がない（高校・大学・ビジネス）	2
中学校が自校給食でない、図書館が狭い、山が多い 花粉症、 外から見ると亀山のことなかなか伝わってこない、習慣が古い	各 1

②-1 亀山市の「まちのイメージ」について考えよう

4つのテーマ「快適に過ごせるまち」、「生き生きと暮らせるまち」、「活気のあるまち」、「子育てを楽しめるまち」を2テーブルずつ設け、3ラウンドのワールド・カフェ方式によって、それぞれのテーマの“まち”である状態、そうなるための要素を考えた。

ワールド・カフェの標準的な流れ



<p>第1ラウンド 20分～30分</p>	<p>テーマ（問い）について話し合う 各テーブルに4～6人ずつ座って、提示されたテーマ（問い）について話し合う。テーブルの上には模造紙が敷かれ、ペンが置いてあり、自由にいたずら書きしながら会話を進める。</p>
<p>席替え</p>	
<p>第2～3ラウンド 20分～30分</p>	<p>アイデアを「他花受粉」する 各テーブルで残る人を一人決めて、残りのメンバーは「旅人」となり、他のテーブルにばらけて移動する。残った人は旅人を出迎えて、簡単な自己紹介を行った後に、第1ラウンドで話し合われた内容をお互いに共有する。その後は、アイデアとアイデアのつながりに注意を向けながらテーマの話し合いを継続する。</p>
<p>席替え</p>	
<p>第4ラウンド 20分～30分</p>	<p>気づきや発見を統合する 第2ラウンドで別のテーブルに行っていた旅人が最初のテーブルに戻り、旅先で得たアイデアなどを統合して、どのような関係性や傾向、意味が流れているかに耳を澄ませながら話し合う。</p>
<p>席替え</p>	
<p>全体セッション 20分～30分</p>	<p>集合的な発見を収穫し共有する 進行役がファシリテーターとなって、参加者全体でそれまでのラウンドで得られた気づきや発見などを共有する。</p>



【各グループの意見整理】

①フィンランド（テーマ：快適に過ごせるまち）

「快適に過ごせるまち」のイメージや要素
自然環境に配慮した取り組みができているまち
上下水道が整備されたまち
地震対策がされているまち
駅が整備・充実されたまち
地域交流の充実したまち
商店街などの充実したまち（駅前、出店しやすい）
医療の充実したまち



上記のイメージや要素の中から、重要と考えるものをピックアップ

重要と考える まちの状態
○自然の保全
○防災耐震
○地域交流・安心・心の豊かさ
○駅の開発整備



②ウズベキスタン（テーマ：快適に過ごせるまち）

「快適に過ごせるまち」のイメージや要素
災害に強いまち（防災訓練、防災対策、意識づけ）
犯罪が少ないまち（防犯カメラ、空き家対策）
助け合える、風通しの良いまち（コミュニティ）
人が集まるまち（イベント）
交通網の発達したまち
日常生活を支えるインフラが整っているまち
空気・水がきれいで安心して住めるまち




上記のイメージや要素の中から、
重要と考えるものをピックアップ

重要と考える まちの状態
○交通アクセス インフラが整備されたまち
○防災対策がしっかりしたまち
○自然と共存できるまち
○自治会・コミュニティ 人とのつながり 風通しのいいまち



③ニュージーランド（テーマ：生き生きと暮らせるまち）

「生き生きと暮らせるまち」のイメージや要素
夢・生きがいもてるまち（文化、芸術、学びの場、地域、コミュニティ、人とのつながり）
高齢者でも生きがい、やりがい、存在感を發揮できるまち
趣味、特技を楽しめるまち
元気・笑顔がいっぱいのまち（スポーツ施設、イベント）
健康でスポーツが盛んなまち（施設、仲間、地域、サークル）
つながり合うまち（コミュニティ）
地域の住民が協働して、自らまちを良くしていこうと取り組める、活躍できるまち （ex.農産物）集まって準備する←趣味→仕事（収入）
↑
地域貢献
働く、働き続ける（収入を得る）
地域の中で、おっくうな人、集まりに入れない人を取り込み、活かせる方法を


 上記のイメージや要素の中から、重要と考えるものをピックアップ

重要と考える まちの状態
○趣味、生きがい
○健康
◎コミュニティ→ビジネスにつなげる（若い人も集まる、安定した収入、世代間の継承）



④フランス（テーマ：活気のあるまち）

「活気のあるまち」のイメージや要素
若者が集まるまち（働く場、飲食店など）
人が集まるまち（イベント、まちづくり、駅前開発）
特産品を活かすまち（亀山茶、亀山木材）
産業が充実したまち（ベンチャーのバックアップ、亀山モデル）
市民一人ひとりがやりがい、生きがい、働きがいを持って、生き生きと活動、活躍しているまち
人が集まる— どちらかといえば若い人 →亀山で済ませられるように＝「食いつく」ものを ↓ ↓ 「つながり」交流 若者が働く場→子どもが帰ってくるように ←腹をくくってとりくむ！ リーダー →亀山を 象徴するもの をつくる（ベンチャー、お茶、木材）⇄ 魅力 →他から来てもらう。PRできるものをつくる。来てもらう 目的 をつくる。→温泉、山、食

↓
上記のイメージや要素の中から、重要と考えるものをピックアップ

重要と考える まちの状態
◎人が集まるまち
○つながり、交流するまち
○魅力、目的があって来てもらうまち
○若者が住みたいまち（働く場、生活）



⑥カナダ（テーマ：活気のあるまち）

「活気のあるまち」のイメージや要素
人が集まる活気のあるまち（イベント、店、歩行者天国、商店街活動、大市、公共交通機関）
住民同士の交流があるまち（意見を言える、集会、行事）
子どもが楽しく暮らせるまち（遊び場、保育園、幼稚園）
活き活きと働けるまち（元気のいい企業、働く場所が多い）
高齢者が元気なまち（健康）



上記のイメージや要素の中から、重要と考えるものをピックアップ

まとめ
○市民として 個人の特技、趣味だけでなく、他の人の力を借りる イベント、交流会だけではなく
○社交的な性格を使って、夏祭り等のイベントで外部からの方をおもてなし
○住民どうしのつながり



⑥パナマ（テーマ：子育てを楽しめるまち）

「子育てを楽しめるまち」のイメージや要素	
大人と子どもが安全に遊べるまち	
地域が風通しの良いまち（相談できる、集える、サークル、勉強会、カフェなど）	
子育てしやすいまち（自然を活かす、孤立しない、一人に負担がかかりすぎない、経済的支援）	
仕事と子育てが両立できるまち	
確かな学・体力を培う教育ができるまち（子どもの自立、大学連携）	
地域の中にも温度差がある。子どもの多い地区と少ない地区がある。そのギャップをどうするか。	
→ 県外、市外の大学生と交流。一緒に学ぶことで子どもたちの成長にプラス	
→ 「子育てが孤立しない」が中心軸	
交流	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模・小規模小学校の交流 互いの良さを共有・共感（競争、のびのび） ・交流の輪に入り方が分からない ・親子カフェ→ 親のつながり ・出産前サークル



上記のイメージや要素の中から、重要と考えるものをピックアップ

重要と考える まちの状態
◎子育てが孤立しない
○子どもの確かな成長
○子育てと仕事の両立
○子育てに自然を活かす



⑦アルゼンチン（テーマ：子育てを楽しめるまち）

「子育てを楽しめるまち」のイメージや要素
子どもが安全に遊べる場のあるまち（公園、トレッキングコース、アミューズメントパークなど）
市民が交流できるまち（イベント、祭り、子育て世代の交流）
仕事と子育てが両立できるまち（保育所の充実、社内保育所など）
時間のゆとりが持てるまち（公共交通機関の充実など）
相談できる場所・相手、地域でのふれあい、手助け
地域の教育を通じた交流



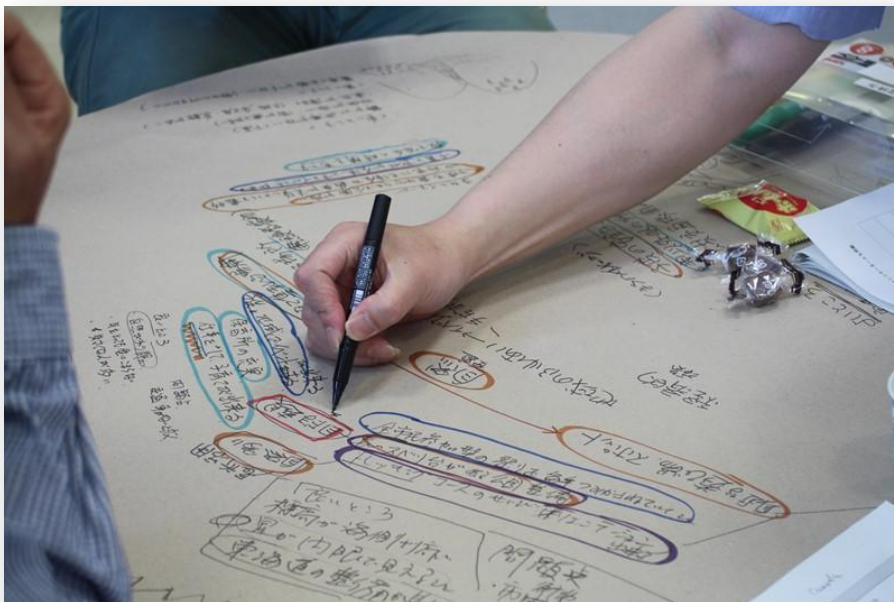
上記のイメージや要素の中から、
重要と考えるものをピックアップ

重要と考える まちの状態
○子育てを通じた交流の場の充実したまち
○自然を活かした遊び場が充実したまち
○SNS等を通じた情報発信→既存施設、自然の有効活用をする



②-2 まちのために自分たちで出来ることを考えよう


最初のテーブルに戻り、冒頭に紹介してもらった「趣味、特技、最近関心があること」を振り返り、「自分の好きなこと」と何を組み合わせると「まちの状態の要素」となるか、プロセスを結ぶ作業を行った。




【各グループの主な意見】

①フィンランド（テーマ：快適に過ごせるまち）

重要と考える まちの状態
○自然の保全
○防災耐震
○地域交流・安心・心の豊かさ
○駅の開発整備


 上記の「まちの状態」に向けて
自分たちでできることを出し合う

自分にできること
保護者と子どもが交流し、地域の者ともふれあえるサロンをつくることで、交流つながりを広げる。
駅の周辺に子どもが集まる場所を整備して交流していく。
子どもとともに自然（昆虫や植物）の勉強をすることで自然の保全へとつなげていく。
市外の友だちと亀山で遊んでSNSに上げる。
亀山を知る。
外国人の方々との交流の場をつくる。イベントの開催を行う。
活動している亀山みそ焼きうどん本舗で食を通じてまちおこしをするイベントを開催するなど他地域に向いて亀山をPRします。
活動している青年会議所で地域の本当の問題点を考え、地域の方々知ってもらおうきっかけをつくります。
小さな神社めぐり→ 情報のUP→ 知りたいと思った他所の人が知ることのできるまちにできる。 つながり→ 来訪者
駅の周辺に子どもが集まる場所を整備して交流していく。
子どもとともに自然（昆虫や植物）の勉強をすることで自然の保全へとつなげていく。


 自分たちでできることの中から、
イチオシを選ぶ

- 「健康・物・心 とともに豊かなまち」を目指して、「国際交流活動」という特技や趣味、活動を活かし、「SNS、情報発信を利用して、亀山市の良さをPRする」
- 「健康・物・心 とともに豊かなまち」を目指して、「旅行」という特技や趣味、活動を活かし、「関心のない者をどれだけ取り込むか」
- 「健康・物・心 とともに豊かなまち」を目指して、「まちおこし活動、子育て」という特技や趣味、活動を活かし、「地域でのサロンの実施」をする

②ウズベキスタン（テーマ：快適に過ごせるまち）

重要と考える まちの状態
○交通アクセス インフラが整備されたまち
○防災対策がしっかりしたまち
○自然と共存できるまち
○自治会・コミュニティ 人とのつながり 風通しのいいまち



上記の「まちの状態」に向けて
自分たちでできることを出し合う

自分にできること
子育てサロンをひろげて地域の親子同士や三世代の交流、自主運行バス、防災情報 → フェイスブックでの情報発信
勉強会の開催→ 価値観の転換を図りたい
山登り→ 土砂災害になりそうなところをチェック、防災地図に反映
子育て→ 保育園などで保護者さんとのつながり→ 子育て世代の集まれるイベント開催
園芸→ 街の美化
散歩、ウォークラリーサークルを元に人との交流の場をつくる
地域の野山に咲く花など紹介して自然に目を向けてもらう
スポーツ（テニス）→ 子どもを楽しませる
自然との向き合い方
行政⇄市民⇄事業者⇄行政
事業所の避難訓練
業種→ 行政・市民の橋渡し役→ 万一の時の受け入れ、連携



自分たちでできることの中から、
イチオシを選ぶ

- 「人とのつながりのあるまち」を目指して、「子育て世代、スポーツ・園芸など」という特技や趣味、活動を活かし、「フェイスブック等を使った情報発信」や「子育てサロン、サークルなどのイベントの企画開催」をする
- 「交通アクセス、インフラが整備されたまち」を目指して、「ハイキングなど」という特技や趣味、活動を活かし、「公共交通機関を使ったイベントを開催」する

③ニュージーランド（テーマ：生き生きと暮らせるまち）

重要と考える まちの状態
○趣味、生きがい
○健康
◎コミュニティー→ビジネスにつなげる（若い人も集まる、安定した収入、世代間の継承）



上記の「まちの状態」に向けて
自分たちでできることを出し合う

自分にできること
伐採
草刈
重機オペ
ゴルフ




自分たちでできることの中から、
イチオシを選ぶ


- 「特技や趣味を生かせるまち」を目指して、「野球、歌、芸術、人と話すこと」という特技や趣味、活動を活かし、「サークル・地域コミュニティ・学校で活動をお手伝い」する
- 「世代が交流し、つながりを持ったまち」を目指して、「地域代表、学校の先生」という特技や趣味、活動を活かし、「地域の課題解決のお手伝い、世代間交流」をする
- 「持続可能なまちづくり（活動、組織）」を目指して、「イベント企画ボランティア」という特技や趣味、活動を活かし、「活動を継続させる為にも、ビジネスとしての要素を取り入れる」

④フランス（テーマ：活気のあるまち）

重要と考える まちの状態
◎人が集まるまち
○つながり、交流するまち
○魅力、目的があって来てもらうまち
○若者が住みたいまち（働く場、生活）


 上記の「まちの状態」に向けて
自分たちでできることを出し合う

自分にできること
ツーリングが好き×SNS スポット紹介×人が集まる
ジョギングが好き、食べるのも好き×ランニングイベント×世代の交流
人と話すことが好き→ ネットワークをつくる→みんなで企画する
PR 出来ること、PR すること→ 失敗怖がらず、とりあえずやってみる→ いつか成功→ 亀山市魅力発信 ゴルフ×イベント（コンペ）
私は社業を通じて、地域の人々が誇る自然を活かし、より多くの人たちが住みたいと思える地域にします → 例：子どもの自然体験ができる場をつくる
私は青年会議所運動を通じて、地域の人たちに亀山のまちを考えるきっかけを作り、皆さんがまちづくり をする意欲を持っていただけるように致します
三世代が集まれるイベントを考える。地域ごとにイベント的な発表が出来る場を作り、市としてのイベント につながるようなことをする


 自分たちでできることの中から、
イチオシを選ぶ

- 「人が集まるまち（世代間で交流する、情報を発信する、他所に向けて PR する）」を目指して、「得意なスポーツ、趣味」や「企業の得意分野」という特技や趣味、活動を活かし、「ジョギング大会、市民ゴルフ大会、自然体験ツアーなどイベントを企画する」をする
- 「人が集まるまち（世代間で交流する、情報を発信する、他所に向けて PR する）」を目指して、「人と話すことが好き」という特技や趣味、活動を活かし、「ネットワークを構築する」
- 「とりあえずやってみる」

⑥カナダ（テーマ：活気のあるまち）

重要と考える まちの状態
○市民として 個人の特技、趣味だけでなく、他の人の力を借りる イベント、交流会だけでなく
○社交的な性格を使って、夏祭り等のイベントで外部からの方をおもてなし
○住民どうしのつながり



上記の「まちの状態」に向けて
自分たちでできることを出し合う

自分ができること
配達の仕事なので、推したい事や物をタウンメール等で配達できる。
体の使い方→健康につながる。自転車のコースをつくる。
星空を案内するイベントを開催



自分たちでできることの中から、
イチオシを選ぶ

- 「活気のあるまち（外部の人の受け入れ、情報発信できる!）」を目指して、「趣味（星座）、知識（子育て）、ネットワークを使い広める」という特技や趣味、活動を活かし、「人との交流」、「イベント」、「企画・設計」をする

⑥パナマ（テーマ：子育てを楽しめるまち）

重要と考える まちの状態
◎子育てが孤立しない
○子どもの確かな成長
○子育てと仕事の両立
○子育てに自然を活かす

↓ 上記の「まちの状態」に向けて
自分たちでできることを出し合う

自分にできること
イベント・集まり 発信、企画、実施→ 交流を広げる→ 孤立
子育て 小規模な見守りサークル→ 負担軽減
色々な情報を発信→他の人を巻き込む→ 交流が進む
保育士→ 周りの子育てを支える→ 子育て環境の充実
アウトドア→イベント実施→ 輪を広げる（自分も楽しむ）

↓ 自分たちでできることの中から、
イチオシを選ぶ

- 「子育てが孤立しないまち」を目指して、「話し好き」という特技や趣味、活動を活かし、「イベントや集まりの企画・発信・実施（それぞれの役割で）」をする
- 「子育てと仕事が両立できるまち」を目指して、「保育士の資格」という特技や趣味、活動を活かし、「イベントや集まりの企画・発信・実施（それぞれの役割で）」や「小さな規模で周りの子育て世帯を支える（小規模保育、サークルでの見守り）」をする
- 「子育てに自然をいかせるまち」を目指して、「アウトドア好き」という特技や趣味、活動を活かし、「小さな規模で周りの子育て世帯を支える（小規模保育、サークルでの見守り）」をする

⑦アルゼンチン（テーマ：子育てを楽しめるまち）

重要と考える まちの状態
○子育てを通じた交流の場の充実したまち
○自然を活かした遊び場が充実したまち
OSNS 等を通じた情報発信→既存施設、自然の有効活用をする

↓ 上記の「まちの状態」に向けて
自分たちでできることを出し合う

自分にできること
イベント等にまず自分から参加をすることにより、友人・知人を誘う
自然→カメラ、PC ネイチャーガイド ブログ
小物を作る 野菜作り 料理をする サロンのなことをするのが好き

↓ 自分たちでできることの中から、
イチオシを選ぶ

- 「各世代の交流による子育て支援」を目指して、「小物作り、野菜作り」という特技や趣味、活動を活かし、「地域でのイベント開催」をする
- 「市内外の交流を深め、遊び場の情報発信をし、子育てに役立てる」を目指して、「トレッキングやカメラ」という特技や趣味、活動を活かし、「SNS・ブログを通じた地域の情報発信（友人・知人）」をする

プレフォーラム（職員向け）の記録

市民フォーラムの開催に先立ち、フォーラムの試行と若手職員の研修を兼ねて、職員向けのプレフォーラムを実施した。

プログラムは市民フォーラムを簡略化したものであり、構成は同じである。

- 日 時／平成 28 年 5 月 17 日（火） 午後 3 時～午後 5 時 15 分
- 場 所／亀山市役所本庁 3 階 大会議室
- 対象者／入庁 4 年目までの若手職員
- 参加者／32 人
- テーブルファシリテーター・補助／12 人（基本構想策定 P T 職員）
- 内 容／「まちのイメージ」や「都市像の展開方針」などに関する意見をワークショップ形式（ワールド・カフェ）で聞きとる。
 - 亀山市の「良いところ」「問題なところ」を考えよう
 - 亀山市の「まちのイメージ」について考えよう
 - まちのために自分たちで出来ることを考えよう

① 亀山市の「良いところ」「問題なところ」を考えよう

【意見の整理結果】

良いところ	件
交通の便（車）、大都市へのアクセスが良い	33
自然が豊か	33
子育てがしやすい（医療、学校含む）	11
ゴミの分別が楽	7
関宿など歴史あるまちなみ	6
公園・遊び場がある	6
土地・物件が安い	5
静か、おだやか、のんびり	5
空気がきれい	4
地域の繋がりがあがる	4
災害（地震・津波）のリスクが低い	4
イベントが多い	2
食べ物がおいしい	2
市民の文化活動が盛ん、住民参加の意識が高い（活動団体が多い）、公害環境、介護施設が多い、白鳥の湯、職場の種類が多い、住民税安い、犯罪が少ない、多文化、おしゃれな店、これからもリニアなどにより発展する可能性を秘めている、亀山愛、知り合いが増える	各 1

問題なところ	件
公共交通（車がないと不便）	31
遊ぶところがない	7
店が少ない	4
田舎なところ、高校・大学がない（遠い）、周りがうるさい、高齢化している、鹿・猪・猿の被害	各 1



②-1 亀山市の「まちのイメージ」について考えよう

【各グループの意見整理】

①シンガポール（テーマ：快適に過ごせるまち）

「快適に過ごせるまち」のイメージや要素
防災に強いまち
自然が多いまち
人とのつながりがあるまち
働く場所があるまち
自転車・徒歩圏内で生活できるまち（買い物、手続きなど）
公共交通機関の充実したまち



上記のイメージや要素の中から、
重要と考えるものをピックアップ

重要と考える まちの状態
○交通の便利さ——白タクシー、市バス
○災害に強く——庁舎の建て替え、河川工事
○介護（福祉）
○市民団体などと協力して盛り上げる
○移動販売など体の不自由な人考えたもの
○働く場所



②ジャマイカ（テーマ：快適に過ごせるまち）

「快適に過ごせるまち」のイメージや要素
楽しくなるまち（散策、店、買い物）
公共交通機関の充実したまち（電車、バス、駅機能の拡大）
災害に強いまち
自然豊かなまち（空気、水）
交流があり、おだやかで心休まるまち
下水普及率 100%のまち
ゴミが少ないまち



上記のイメージや要素の中から、重要と考えるものをピックアップ

重要と考える まちの状態
○交流施設の充実→ 憩い場 ←イベント、スポーツ 地域のつながり キレイ、清潔
○楽しくなるまちなみ ←老若男女の情報収集
○災害対策、災害に強いまち、住宅強化
○下水道普及率 100% ←野球のチーム名
○駅機能の拡大化→ 利便性向上
○エコ ゴミゼロ化
○空気をきれいに→公共交通機関の充実←旅に出る ←フェイスブックで発信



③アイスランド（テーマ：生き生きと暮らせるまち）

「生き生きと暮らせるまち」のイメージや要素
個人が満足できる、ライフスタイルが選べるまち（したいことができる、趣味、学び）
人が集まり、にぎわうまち（イベント、参加企画、地域のつながり）
安心して住めるまち（医療・福祉・老人福祉）
子どもが元気なまち（遊び場）
若者が暮らしやすいまち（遊び場・店）




上記のイメージや要素の中から、重要と考えるものをピックアップ

重要と考える まちの状態
○個人が満足 ←趣味
○地域イベント
○参加、参画 啓発 人材育成
○心と身体、心と体の余裕
○学び→楽しみ
○夢 笑顔



④ガーナ（テーマ：生き生きと暮らせるまち）

「生き生きと暮らせるまち」のイメージや要素
健康で元気に暮らせるまち
スポーツ施設が充実したまち
夢や生きがいもてるまち（特技・趣味）
地域のつながりがあるまち（交流・助け合い）
手入れされた自然があるまち
子どもを育てやすいまち
図書館、公園などの施設が充実したまち
福祉の充実したまち（バリアフリー）
公共交通の充実したまち（バスなど）


 上記のイメージや要素の中から、
 重要と考えるものをピックアップ

重要と考える まちの状態
○健康な暮らし — 施設（スポーツ等ができる） — コミュニティ（イベント・スポーツ等ができる）
○夢（笑顔）を持てる — 子どもが個性を発表する場づくり→地域と関わり — 生きがい（趣味・特技）が活かせる
○地域のつながりがある
○プロ（一流）に触れる（心に響く）



⑤チェコ（テーマ：活気のあるまち）

「活気のあるまち」のイメージや要素
店が多いまち（商店街・SAの充実・特産物）
市民が元気で楽しいまち
人が集まるまち（イベント、祭り、スポーツ大会、大学、観光など）
地域のつながりがあるまち（交流・イベント）
スポーツの盛んなまち
アクセスが良いまち
財政基盤が安定しているまち
若者が多いまち



上記のイメージや要素の中から、重要と考えるものをピックアップ

重要と考える まちの状態
○交通の要 昔からの宿場をアピールして宿泊客をもてなす。民泊（空き家の活用）
○子育てのための環境整備←託児所の併設
○公共交通の発達



⑥ポリビア（テーマ：活気のあるまち）

「活気のあるまち」のイメージや要素
イベントの多いまち（祭り、フェス、天体観測、市主催のものなど）
人が集まるまち（交通整備、イベント、屋内施設）
商業の充実したまち（商店街など）

↓ 上記のイメージや要素の中から、重要と考えるものをピックアップ

重要と考える まちの状態
○子ども中心 子どもが元気→みんな元気
○家族、年配 元気だと活気
○金 工場→職場
○心 同じ悩みをもつ人の集まり



⑦オーストラリア（テーマ：子育てを楽しめるまち）

「子育てを楽しめるまち」のイメージや要素
親子で遊べる・集まれる場所のあるまち（自然、屋内、スポーツ、相談など）
保育園等の整備されたまち（校舎の整備、すぐ入れる体制、個性的な保育施設）
出産後も仕事を続けられるまち
親が余裕を持てるまち（金銭的、時間的、精神的）
子どもの将来に希望がもてるまち



上記のイメージや要素の中から、重要と考えるものをピックアップ

重要と考える まちの状態
○親子参加イベントが豊富 活気
○コンパクトなまち 徒歩で遊べる 生き生き
○職業体験施設
○自然と親しむ キャンプ場←森のようちえん 自然・自主保育
○子育てについて、他の力を借りられる 保育所等
○多方面の教育を受けられる環境→アクセス向上 いろいろな地域に行ける



⑧パキスタン（テーマ：子育てを楽しめるまち）

「子育てを楽しめるまち」のイメージや要素
親子で安全に遊べる環境があるまち
風通しの良い、横のつながりがあるまち（相談、情報共有、イベント開催・周知）
様々な教育活動が行われるまち
子どもが使える交通手段があるまち（公共交通、送迎）



上記のイメージや要素の中から、重要と考えるものをピックアップ

重要と考える まちの状態
○自転車通行等の安全性確保
○子どもに関わる人（保育士さん等）が多い
○子どもが使える公共交通←坂道が多く、子どもにとって移動が大変
○仕事をしながら子育てを！
○横のつながりを（移住者と地域等）
○親子での体験ができる場の充実



②-2 まちのために自分たちで出来ることを考えよう

【主な意見】

②ジャマイカ（テーマ：快適に過ごせるまち）

- 「公共交通機関の魅力発信」を目指して、「ゲーム・プログラミング」という特技や趣味、活動を活かし、「フェイスブックでの情報発信」をする
- 「楽しめる散歩」を目指して、「子どもと散歩」という特技や趣味、活動を活かし、「多様な方から情報収集」をする
- 「交流施設（場）の充実」を目指して、「フットサル、スポーツ、出会い」という特技や趣味、活動を活かし、「憩いの場の形成」をする

④ガーナ（テーマ：生き生きと暮らせるまち）

- 「健康、夢、地域力の向上」を目指して、「スポーツ（バスケ、陸上、そろばん）」という特技や趣味、活動を活かし、「地域・学校での子どもへの教室開校」をする

⑤チェコ（テーマ：活気のあるまち）

- 「交流が盛んなまち、人が集まるまち」を目指して、「スポーツ観戦、音楽」という特技や趣味、活動を活かし、「フリマ、パブリックビューイング」をする

⑧パキスタン（テーマ：子育てを楽しめるまち）

- 「世代を越えてのつながり」を目指して、「スポーツ（フットサル、野球、バスケ）」という特技や趣味、活動を活かし、「声かけをしてみんなが楽しめる環境」にする

市民フォーラムと職員向けプレフォーラムの結果考察

① 亀山市の「良いところ」「問題なところ」を考えよう

このセッションについては、市民フォーラムと職員向けプレフォーラムとの結果にほとんど差異はなく、「良いところ」については「交通の便、アクセスが良い」「自然が豊か」「子育てがしやすい」といった意見がともに多く挙げられ、「悪いところ」も同様に「公共交通が不便」といった意見が多く挙げられた。

②-1 亀山市の「まちのイメージ」について考えよう

このセッションについても、市民フォーラムと職員向けプレフォーラムとの結果に、大きな差異は見られなかった。

具体的には、「快適に過ごせるまち」では、ともに「自然が多い」「災害に強い」「交通が便利」「インフラが整っている」「地域のつながりがある」といった意見が多かった。

「生き生きと暮らせるまち」では、ともに「健康に暮らせる」「夢や生きがいがある」「スポーツが盛ん」「地域のつながりがある」といった意見が多かった。

「活気のあるまち」では、「イベントなどで人が集まる」はともに多かったが、市民は「外から来てもらう」「外の力を借りる」という視点があったのに対し、職員は「商業が盛ん」という視点があり、若干の差異が見られた。

「子育てを楽しめるまち」では、ともに「自然を活かしつつ安全に遊べる」「仕事と子育てが両立できる」「地域とのつながりがある（孤立しない）」といった意見が多かった。

②-2 まちのために自分たちで出来ることを考えよう

このセッションについては、市民フォーラムでは、様々な活動している人が自分の得意分野を活かして「イベントの実施」や「市民交流」「コミュニティビジネス」などの取り組みが多く挙げられた。一方、市民フォーラム、職員向けプレフォーラムとも、「SNSでの情報発信」「地域や学校でのお手伝い」などが挙げられ、共通した傾向が見られた。

